

安心・安全

全点さまざまな安全規格の基準をクリア。

プリントインクや表面処理剤に水性のものを使用する事によりVOC放散抑制に効果があります。



JIS
適合品

シックハウス対策品です。

シックハウス対策建築基準法の規制を受けない「F☆☆☆☆」ですから、安心してご使用いただけます。

ホルムアルデヒド放散量の試験結果

JIS A 6921の基準値	0.2mg/リットル以下
試験結果	0.2mg/リットル以下 (もしくは検出されず)
ホルムアルデヒド等級	F☆☆☆☆

SV規格

Standard Value (壁紙製品標準規格)

快適・健康・安全に配慮した製品を供給することを目的として壁紙工業会によって制定された自主規格です。

JIS規格 (壁紙: JIS A 6921)

Japanese Industrial Standards (日本産業規格)

日本の工業製品の品質安定を目的とした産業標準化法に基づき制定された国家規格です。

項目 NO.	試験項目		SV規格	JIS規格
			規格値	規格値
1	退色性(号)		4以上	同左
2	摩擦色落ち度(級)	乾燥摩擦色落ち度	縦	4以上
			横	4以上
		湿潤摩擦色落ち度	縦	4以上
			横	4以上
3	隠蔽性(級)		3以上	同左
4	施工性		浮き及び剥がれがあってはならない	同左
5	湿潤強度(N/1.5cm)	縦	5.0以上	同左
		横	5.0以上	同左
6	ホルムアルデヒド放散量(mg/L)		0.2以下	同左
7	重金属	砒素(mg/kg)	3以下	—
		鉛(mg/kg)	20以下	—
		カドミウム(mg/kg)	3以下	—
		クロム(mg/kg)	20以下	—
		水銀(mg/kg)	2以下	—
8	塩化ビニルモノマー(mg/kg)		0.1以下	—
9	残留VOC	TVOC(μg/g)	100以下	—
		※TEX芳香族(μg/g)	10以下	—

※TEXとは、トルエン、キシレン、エチルベンゼンの略称です。

(使用原材料)

10	安定剤	鉛、カドミウム、有機スズを含有する安定剤は使用しない。	—
11	可塑剤	沸点が300℃以上の難揮発性可塑剤を使用する。ただしDBPは使用しない。	—
12	発泡剤	フルオロカーボン類は使用しない。	—
13	溶剤	TEX(トルエン、キシレン、エチルベンゼン)は使用しない。	—

- 上表は、各規格の規定内容を簡略化して一覧にしたものです。項目1~6は、両規格とも同じです。SV規格は、「JIS規格」やドイツの「RAL規格」などを基につくられた規格で、JISの基本品質に、より安全性を考慮して重金属やVOCなどの規定が加えられています。
- SV規格・JIS規格の内容は変更になる場合があります。最新情報につきましては壁紙工業会及び日本壁装協会ホームページをご参照ください。